

## 資生堂ビューティークリエイションセンター監修 「日本の化粧の変遷 100 年」刊行 ～大正ロマンから令和ギャル系まで「化粧」の変遷を辿るビジュアルブック～

資生堂は、資生堂ビューティークリエイションセンター※<sup>1</sup> に所属するヘアメイクアップアーティスト監修による書籍、「日本の化粧の変遷 100 年」(玄光社刊)を、2023 年 11 月 27 日に刊行します。

資生堂ビューティークリエイションセンターでは、1987 年よりメイクやヘアの現在と未来のトレンドを探る「ビューティートレンド研究」を行ってきました。その成果を活かし、時代とともに変化する「日本女性の化粧の変遷 100 年」を発表しています。本書では、イラストによる各年代の女性のビジュアルに加え、ヘアメイクアップアーティストによる化粧のテクニックの解説や、化粧にも影響を与えた時代背景などを新たに掲載。幅広い生活者に向け、化粧の楽しさをお伝えします。

### 書籍概要

#### 「化粧は時代を映し出す」

西洋化粧が一般的に取り入れられるようになった 1920 年代から 100 年、日本人の化粧はそれぞれの時代を反映してきました。本書では、資生堂が化粧の変遷を 1 名のモデルで再現した「日本女性の化粧の変遷 100 年」に加え、ヘアメイクアップアーティスト監修による各時代の化粧の特徴を、目もと、眉、口もとなどポイントごとにわかりやすく解説しています。また、各時代の化粧を再現するためのアイテムやテクニックを掲載しているほか、化粧にも影響を与えた時代背景や当時のトレンドについてのコラムも収録。当時の女性がどのように化粧を取り入れていたかを知ることができます。日々のメイクにアクセントを加えるアイデア本としても、創作のための資料本としても、活用いただける 1 冊です。



「日本の化粧の変遷 100 年」(表紙)

上: 1920 年代 大正ロマン薫るモダンガール(中面)

下: 1970 年代後半 日本的美を追求したエキゾチックメイク(中面)

タイトル	日本の化粧の変遷 100 年
監修	資生堂ビューティークリエイションセンター
内容	Chapter1 1920's 大正ロマン薫るモダンガール Chapter2 1930's 大衆が憧れた銀幕女優メイク Chapter3 1950's アメリカンスタイル&ヘップバーンがお手本 Chapter4 1960's 欧米志向真っ盛りの西洋人形風メイク Chapter5 Early1970's フォークロア調アンニュイなヒッピースタイル Chapter6 Late1970's 日本の美を追求したエキゾチックメイク Chapter7 Early to middle1980's 美しくパワフルなキャリアウーマン Chapter8 Late 1980's to early 1990's バブル景気に沸く「なりきり」お嬢様 Chapter9 Late1990's to early2000's きらめくクールビューティー Chapter10 Middle to late 2000's “盛り”メイクでモテ気分 Chapter11 Since3.11,2011's ゆるふわメイクで作る愛され顔 Chapter12 Middle2010's キレイめアジアニックステイスト Chapter13 2020's 心地よい「私」のあり方を表現
発行	株式会社 玄光社 〒102-8716 東京都千代田区飯田橋 4-1-5 URL: <a href="https://www.genkosha.co.jp/gmook/?p=32994&amp;utm_source=pressrelease&amp;utm_medium=referral&amp;utm_campaign=shiseido&amp;utm_id=referral">https://www.genkosha.co.jp/gmook/?p=32994&amp;utm_source=pressrelease&amp;utm_medium=referral&amp;utm_campaign=shiseido&amp;utm_id=referral</a>
刊行日	2023/11/27 全国の書店およびネット書店にて販売
判型	A5 168 ページ
定価	2,200 円(税抜)

### 本書監修 ヘアメイクアップアーティスト

・岡元 美也子 (Miyako Okamoto)

NYやパリコレクションにメイクとして携わる。トレンドをさり気なく取り入れたシンプルで抜け感のあるメイクに定評がある。

HP: <https://hma.shiseido.com/jp/member/okamoto/>



・谷口 丈児 (Joji Taniguchi)

東京コレクションやパリコレクションにヘアメイクとして携わり、トレンド情報にも精通。数多くの広告撮影にも携わり、リアルからモードまで幅広い表現に定評がある。

HP: <https://hma.shiseido.com/jp/member/taniguchi/>



・林 佐知子(Sachiko Hayashi)

ファッションやビューティーの枠を超えた美の表現を追求。指導力にも定評がありSABFA※2の講師やテレビのメイクコーナーでも活躍。

HP: <https://hma.shiseido.com/jp/member/hayashi/>



※1 資生堂ビューティークリエイションセンター: プロのヘアメイクアップアーティストが約 40 名在籍し、宣伝広告のヘアメイクアップ、メイクアップ商品のカラークリエイションをはじめ、NY、パリ、東京などで開催されるファッションショーのバックステージで活躍し、最先端のトレンド情報をグローバルに発信している。  
資生堂ビューティークリエイションセンターWeb サイト <https://hma.shiseido.com/jp/>

※2 SABFA: ヘアメイクアップアカデミー&スタジオ「SABFA」。資生堂が長年にわたって培ってきた美容のノウハウを社会に還元し、優れた技術と創造力を持ったヘアメイクアップアーティストを育成することを目的として 1986 年に開校。卒業生は 2,000 名を超え、広告・TV・CF・雑誌の撮影現場やファッションショーのバックステージなどで活躍するほか、国内外の美容サロンではヘアメイクアップのエキスパートとして活動している。<https://sabfa.shiseido.co.jp/>

※お客さまからのお問い合わせは「資生堂お客さま窓口 フリーダイヤル 0120-81-4710」でお受けしています。